

しんじゅくコール

☎ 3209-9999

FAX 3209-9900

土・日曜日、夜間もご案内
受付時間:午前8時～午後10時

聴覚に障害がある方で「ファックス番号のない記事」
へのお問い合わせは、しんじゅくコールのファックス
をご利用ください。

※本紙に記載の電話番号は市外局番(03)を省略しています。

COVID-19 新型コロナ ワクチン臨時号

この広報新宿は、3月28日(月)～30日(水)の期間で区内全
世帯に配布しています。

変異株は 軽症じゃない

感染症の専門家が語る第6波とオミクロン株

新型コロナの第6波では、感染力が非常に強い変異株である「オミクロン株」の市中感染により、爆発的な感染拡大が起きました。

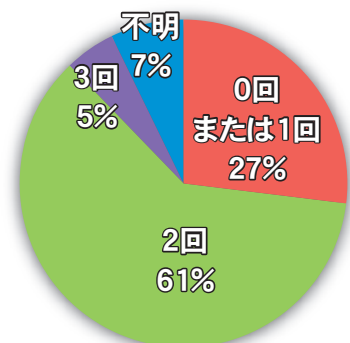
感染力がとても強いので、家庭や職場等で伝播するケースも多く、若い方も、高齢者も、子どもも、あらゆる世代での感染が見られました。

「オミクロン株」は、無症状や軽症だから感染しても大丈夫だと思う方が増えているようですが、そんなことはありません。若い方も強いのだの痛みや、高熱などのつ

らい症状が見られるほか、高齢者の方や持病のある方で、入院を必要とするほど症状が悪化する方もいます。

区内の感染ケースでも、ワクチンを1回も接種していない方、1・2回目まで接種した方、3回目まで接種した方では、重症化の状況が異なります。ワクチンの3回目接種により重症化を防ぐことにつながっていることがわかります。決して楽観視せず、ワクチン接種と感染症予防対策をお願いします。

下記で、新宿区内の事例を紹介します。



▲JCHO東京新宿メディカルセンター
第6波入院患者のワクチン接種歴

新宿区内の新型コロナ基幹病院の入院患者の状況

オミクロン株は感染力が強いため、ワクチンを接種している方でも感染し、入院するケースも多数あります。しかし、ブースター接種(3回目接種)を受けた方が入院するケースは少ない状況です(左図参照)。

また、入院患者さんで重症化した方の多くは、ワクチンを1回も接種していない、または2回までしか接種していない方です。3回目接種した方で重症化した方はほとんどいません。

JCHO東京新宿メディカルセンター 溝尾 朗先生 談



▲国立国際医療研究センター病院
国際感染症センター長 大曲 貴夫先生

新宿区内の事例

●新型コロナの「軽症」の症状は軽くありません

新型コロナの「軽症」は、呼吸器の症状を基準としており、血液中の酸素飽和度が保たれていて酸素投与が必要ない状態であれば「軽症」と判断されます。

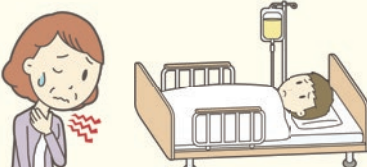
オミクロン株では、「軽症」と判断された方であっても、40℃近い発熱や、強いのだの痛み、嘔吐・下痢などの消化器系症状が数日間続く方もいました。



●経口摂取が困難になることでさまざまな影響が

強いのだの痛みにより、口から水分や食べ物を摂取することが難しくなり、点滴を受けた事例もありました。

水分摂取が困難な状態が続くと脱水傾向になり、基礎疾患がある方が、脳梗塞を発症したこともありました。



●持病に呼吸器系の疾患のある方は重症化しやすく急激に悪化する危険性も

ぜん息や肺炎などの呼吸器系の病気の既往歴がある方がかなり重症化した事例がありました。

高齢の方で、呼吸器系の疾患がある方の中には、呼吸状態が急激に悪化し、亡くなられた方もいました。



●施設内や、同居者への急速な感染拡大

第6波において、区内の高齢者施設では、施設の従事スタッフや入所者のご家族がご自身の新型コロナ感染に気付かず、施設にウイルスを持ち込んでしまい、集団感染を引き起こすという事例が多く発生しました。

入所者のほとんどは高齢であるため、重症化のリスクにさらされました。実際に重症化してしまった方もいました。

オミクロン株は感染力が強く、家族が感染すると家庭内感染の可能性が高まります。そこから、職場等へ感染が広がることもあります。

感染予防の徹底はもちろん、症状に気付いたら、早めに休んで相談機関に問い合わせましょう。

3回目の新型コロナワクチン接種等の新型コロナ対策も引き続きお願いします。

